

「山形県立新庄病院改築整備基本計画」(案)の概要

第1章 全体計画

1. 改築整備の基本方針(目指すべき方向)

- 最上地域唯一の基幹病院として管内医療機関との連携による地域完結型医療の提供
- 医療機能の重点化と二次医療圏を越えた広域的な診療体制の構築
- 最上地域の公的医療機関を持続的に支える医師の派遣機能や教育研究機能等に係る拠点機能の整備
- 医療と介護・福祉の連携拠点

2. 新病院の診療機能

(1) 重点を置く診療分野、主要な診療機能

① 救急医療

地域救命救急センターの設置

ICU: 6床、一般病床: 4床 計: 10床 (325床の内数)

- ② がん医療 (地域がん診療連携拠点病院としての機能強化)
- ③ 心疾患・脳血管疾患 (高齢化に伴い患者数の増加が見込まれる疾患)
- ④ 小児・周産期医療 (最上地域唯一の分娩取扱い医療機関)
- ⑤ 総合診療 (総合診療科の増設、専門医の育成による診療機能の充実)
- ⑥ 災害医療等 (災害拠点病院としての機能強化等)

(2) 診療科

緩和ケア内科、腫瘍内科、血液内科、精神科・心療内科、歯科、救急科、リハビリテーション科、腎臓・内分泌内科、総合診療科の増設

(3) 病床規模・機能

○病床数: **325床**

■ 一般病床	: 275床
{ 一般(6病棟)	= 265床 (うち感染症: 4床)
{ 地域救命救急センター	= 10床
■ 地域包括ケア病床(1病棟)	: 50床

○緩和ケア病床機能の整備 等

3. 機能分担と連携機能

- 地域医療機関からの受入機能 (地域の医療機関との連携強化等)
- 退院調整・在宅療養支援機能 (在宅療養移行支援・緊急時入院受入機能の強化等)
- 三次医療機関との広域連携 (広域での救急搬送体制の整備等)

4. 教育実習機能

- 最上地域の公的医療機関への医師派遣及び教育実習に係る拠点機能の整備
- 総合診療専門医の育成

5. 介護・福祉との連携

(1) 地域包括ケアシステムへの対応

○ 多職種と連携した包括的かつ多様な医療サービス提供体制の構築

(2) 障がい児医療・療育への対応

○ こども医療療育センター等で診断された障がい児のフォローアップの推進

第2章 部門計画

以下の各部門について、新病院の診療機能を踏まえた基本方針、運用計画とする。

- 1 外来部門、2 入院部門、3 救急・災害部門、4 手術・中央材料部門、5 内視鏡部門、
- 6 放射線部門、7 検査部門、8 薬剤部門、9 人工透析部門、10 リハビリテーション部門、
- 11 臨床工学部門、12 栄養部門、13 医事経営部門、14 地域連携部門、15 医療安全部門、
- 16 感染管理部門、17 管理部門

1 外来部門

- 診療科のブロック配置による専門性・効率性の向上
- フリーアドレス診察室の採用による効率運用

2 入院部門

- 4床室と1床室を基本に、療養環境の向上に留意した病棟配置
- 病床稼働率は、地域包括ケア病床：90%以上、一般病床：85%以上を目標

3 救急・災害部門

- 地域救命救急センターの設置（再掲）による救急診療体制の強化
- 新庄市夜間休日診療機能の移転による医療資源及び一次・二次救急医療の効率運用

4 手術・中央材料部門

- 中央ホール型を基本に、患者プライバシーに配慮（患者搬送用エレベーターの設置）

5 内視鏡部門

- 各種疾患の早期発見及び正確な診断・治療の推進

6 放射線部門

- 先端医療機器の導入による高度な画像情報・治療の提供

7 検査部門

- 安心かつ高精度の検査データの提供

8 薬剤部門

- 各診療科・外来化学療法室との連携及び多職種との連携による安全・安心・適切な薬物療法の提供
- 地域の保険薬局や医療機関との連携による薬物療法支援

9 人工透析部門

- 感染対策と医療安全に配慮した質の高い透析医療の提供

10 リハビリテーション部門

- 急性期リハビリテーション機能の充実による早期治療・早期退院の充実
- こども医療療育センター等との連携による障がい児リハビリテーション体制の整備

14 地域連携部門

- 総合患者支援センター（仮称）の設置による患者サポートの推進
- 最上保健所との連携による医療・介護・福祉に係る相談窓口の整備

第3章 施設整備計画

1. 整備概要

(1) 基本方針

- ①患者の療養環境に配慮した施設整備
 - ・プライバシーに配慮した診察室及び入院室料差額個室（5%⇒15%程度）の整備
 - ・患者用図書室の整備（医療・健康情報収集の支援と癒しの空間の創出）
 - ・身障者に配慮した駐車場（屋根付き、容易なアプローチ）の整備
- ②最上地域唯一の基幹病院としての機能を備えた施設整備
 - ・化学療法、放射線治療機能の充実（地域がん診療拠点病院としての機能発揮）
 - ・ヘリポートの整備（救急受入体制の強化及び災害拠点病院としての機能発揮）
- ③地域特性に配慮した施設整備
 - ・積雪等を考慮した十分な駐車台数の確保（850台程度の整備）
- ④職員の働きがい・職場環境に配慮した施設整備
 - ・院内保育所の設置
- ⑤開院後の健全経営を見据えた施設整備
 - ・外来診察室等への共通仕様（可変性）の導入

(2) 所在地

- ・新庄市金沢字中関屋地内 約 56,400 m²

(3) 施設規模・構造

- ①規模：約 27,700 m²
- ②構造：災害拠点病院として地震等の災害時に機能する構造（免震構造の検討）

2. 敷地利用計画

- 利用者や救急車両等の動線の明確化
- 周辺環境に配慮した施設配置
- 積雪等を考慮した十分な駐車台数の確保（850台程度の整備）（再掲）

3. 設備計画

(1) 機能性

イニシャルコスト（設備導入費）及びランニングコスト（運転・維持管理費用）の縮減

(2) 安全性

ライフラインの途絶等災害時における機能維持

(3) 環境性

環境に配慮した熱源・電源計画

第4章 整備事業計画

1. 概算事業費

主な項目	概算事業費
用地調査・取得費	約8億円
設計・監理費	約4億円
建設工事費	約150億円
医療機器等整備費	約38億円
計	約200億円

今後の建築単価の推移等、社会情勢を注視しながら精査していくこととする。

2. 整備スケジュール

年度	工程
2018(H30)～2020(H32)	基本・実施設計
2020(H32)～2022(H34)	建設工事
2022～2023(H34～H35)	外構工事、医療機器等整備
2023(H35)	開院

新病院への移転時期については、地域性を考慮し、積雪・気温による影響が極力少ない時期に設定することとする。

3. 事業収支シミュレーション

(単位：百万円)

項目		開院1年目	開院2年目	開院3年目	開院4年目	開院5年目
総収益	医業収益	7,371	8,497	8,676	8,836	9,108
	医業外収益	1,169	2,085	1,602	1,594	1,589
	特別利益	1	1	1	1	1
総費用	医業費用	8,074	11,162	9,320	9,347	9,515
	医業外費用	327	331	331	329	327
	特別損失	13	13	13	13	13
医業収支		▲703	▲2,665	▲644	▲511	▲407
経常収支		139	▲911	627	754	855
資金収支		61	624	582	596	513

経営状況に応じて随時見直しを図り、健全経営を維持できる計画とする。

今後のスケジュール（案）

- 2月下旬～3月下旬 パブリック・コメント実施
- ～3月末 基本計画策定